

堺自然ふれあいの森

ニュースレター 第14号

発行：平成19年3月30日 TSOグループ(指定管理者)

収穫祭 2006年12月23日



1年の恵みを与えてくれた自然と、この森にかかわる人への感謝の気持ちをこめた「収穫祭」を実施しました。全体挨拶と説明の後、3班に分かれた参加者は、餅つき・ガイドウォーク・ススキの移植を交代で体験しました。餅つきは、初めての人から懐かしくて仕方がない人まで、最初は腰が引けていましたが、いっちんクラブ(堺自然ふれあいの森 ボランティア)の指導により、みるみる上達し、コシがあって柔らかい最高のお餅ができあがりました。ガイドウォークでは、短い時間でしたが森の雰囲気を楽しむことができました。イベント参加者は一般来園者 59名、いっちんクラブ 42名、スタッフを合わせると総勢100名を超える大イベントとなりました。



▲ ガイドウォーク



▲ ススキ移植活動体験



▲ 豚汁の振舞い

参加された方々の声

- 自然と触れ合え、子どもも大変楽しめました。
- 最近この様な体験の出来る場が少ないので、貴重です。
- 自然の語や植物を身近に感じられました。
- お餅つきを久しぶりにしました。杵がとても重かったです。でも、良い思い出になりました。
- 色々と体験も出来たし、おいしい豚汁も食べることが出来、とても満足しました。



団体受け入れ

●学校の遠足や校外学習の他、大人向けの自然観察や講義・研修の受入も実施しています。既存のプログラム以外にも目的に合わせたプログラムを作成・実施いたしますので、ご相談下さい。



▲ 森の仕組みの解説



▲ 観察と合わせた講習



▲ グループ学習の指導

関連イベント



▲ 稲刈り体験(10月7日)



▲ 芋掘り体験(10月14日)

どうしてススキを移植するの？

園内には、カヤネズミ(※)などのススキを利用している生きものが多くいます。現在、進められている道路工事に伴い、生息環境が失われるのを防ぐため、ススキの移植を行いました。

※カヤネズミ・・・ススキ・チガヤ・スゲなどイネ科の植物が密生した所に生息する。大阪府レッドデータブック 要注目種。



市民参画による 里山保全への取り組み

● 堺自然ふれあいの森では、市民が主体的に公園とかかわることができるように、いっちゃんクラブと協議を行い、活動の目的や範囲を明確にした「ゾーン」や「管理区」を設置しています。これにより、多くの市民の方がいっちゃんクラブに参加することで、堺自然ふれあいの森の保全に携わることができます。

- ゾーン** 樹林管理の目的(方向性)や作業範囲・内容を決めた区域。
- 管理区** 継続的に里地的な景観の創出や保全などに取り組む区域。



● 堺自然ふれあいの森は、いっちゃんクラブの活動と常駐するスタッフ(指定管理者:TSOグループ)による管理により、園内の環境を保全し、環境教育の場として堺市民が誇れる公園を目指しています。

ゾーン3

尾根筋のコナラの高木が交じる照葉樹主体の林。現在の植生を活かした択伐により、自然解説用の広場の空間をもつ雑林を目指しています。

ゾーン4

尾根筋のマツ枯れ跡の平坦地。現在の植生を活かした択伐により、開けた空間を持つコナラ主体の林を目指しています。

尾根みち(ゾーン7)



照葉樹の混在するコナラ主体の落葉樹林を通る尾根筋の既存園路(尾根みち)。混在する照葉樹を活かし、択伐やツル切り・下刈りなど日常的な管理により、変化に富んだ植生や景観などを持つ園路を目指しています。

見はらし広場(ゾーン2)

尾根上部のマツ枯れ跡の平坦地。眺望の確保を目的に択伐を行い、広場を設置(見はらし広場)。今後は、広場としての魅力を高めるため、剪定によるツツジの樹高抑制と計画的な管理を行います。



里山風景区(ゾーン1)

旧耕作地に繁茂したネザサと斜面の落葉広葉樹林を整備し、広場的な空間と明るい林床を持つコナラ主体の里山の雑木林の景観を創出。今後は、里山風景区として、自生花木の育成など景観管理に取り組みます。



ゾーン6

水田跡のネザサ地帯。園路の新設を目的に、ルート上のネザサの刈り取りを行います。終点到、シリブカガシの老木を中心とした広場を設置します。



ゾーン10

ネザサ・クズの密生した水田跡と造成地の斜面。刈り取りなどにより、公園の導入部に相応しい景観の創出を目指します。

林床管理区(ゾーン8)

斜面の照葉樹を皆伐し、林床植生の更新試験を目的に設置。今後は、林床管理区として、コナラ主体の雑木林の再生に取り組みます。



その他の管理区

- ◎ 農管理区(田): 農景観の創出と農の体験学習エリアとして管理しています。
- ◎ 農 風 景 区: ソバ・ナノハナ・レンゲによる里山のな花景観の創出をします。
- ◎ 苗 圃 管 理 区: コナラなどの苗圃育成を行います。
- ◎ 雑 草 管 理 区: 雑草の栽培に取り組みます。
- ◎ お 茶 試 験 区: 茶畑景観を創出します。
- ◎ 果 樹 管 理 区: 放棄されていたクリ畑の整備を行っています。
- ◎ 湿 地 管 理 区: 湿地を含む低地に設置された調査区域です。
- ◎ ススキ再生区: カヤネズミの保全を目的にススキを移植しました。

ゾーン5

スゲ沼や農管理区に隣接するアラカシ主体の斜面林。枝打ちと択伐を行い、スゲ沼の保全及び、農管理区への日照の確保を積極的に行っています。

ゾーン9

常緑樹主体の雑木林。耕作地縁の景色としての管理のほか、択伐により林床への日照を確保するなど、里山的利用に適した落葉樹林への移行を試みます。



● 「ゾーン」や「管理区」の設置は、「堺自然ふれあいの森 運営会議」の承認を得て行っています。

いっちゃんクラブ 全体活動の一年

全体活動は、毎月1回テーマを決めて、会員全体で取り組んでいます。この他に通常の活動として調査・研究、樹林管理、農作業体験、環境教育、イベント企画、広報があります。

4月

- ・ネザサ刈り取り
- ・粗糞組み
- ・ソバ畑の開墾



5月

- ・田植え準備(代かき)



6月

- ・総会
- ・尾根みち周辺の整備



7月

- ・間伐
- ・ネザサの刈取り
- ・下草刈り



8月

- ・里山風景区
の整備
- ・農管理区の整備



9月

- ・里山風景区
の整備
- ・葉干しの組立て
- ・カレー作り



10月

- ・稲の脱穀
- ・林床管理区域
の下草刈り



11月

- ・ソバの脱穀
- ・林床管理区域
の整備
- ・焼き芋作り



12月

- ・「収穫祭」の
準備と実施
- ・餅つき



1月

- ・ゾーン3、4の
活動の検討
- ・湿地管理区域
の伐木



2月

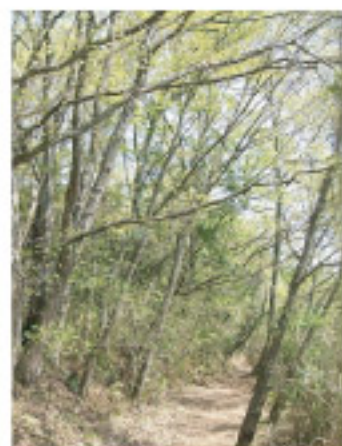
- ・ソバ打ち
- ・チップの移動



3月

- ・かがみ池周辺
のネザサの刈
取り





■ひと昔前まで、自然を愛する立場からは「木を伐るのは自然破壊だ」と目されることも多かったようです。しかし、すでに多くの図書等で紹介されているとおり、カタクリやスミレなどの林床の植物や、それに依存する昆虫たちの生育・生息は、人の手による持続的な管理が里周辺の森林で行われたことにより維持されてきました。里山は、管理（木を伐るなど）することによって、その環境が維持できるということが今では当然のこととして語られるようになり、全国各地で市民・企業・行政などによる様々な里山管理の取り組みが行われるようになっています。

■ところで、「里山」といっても、その林相のタイプはいろいろです。代表的なものは、コナラ・クリが優占する落葉広葉樹林ですが、他にもアカマツが優占する針葉樹林やアラカシが優占する常緑広葉樹林などがあります。これは、地域による気候の違いや、地形・土壌等によって成立する植生が異なるためです。林床にツツジが多いところ、湿地と隣接したところなど細かな違いもあります。このように、里山にも様々なタイプがあるということは、管理にも様々な方法があると考えられます。

■里山の管理に限らず、自然環境保全の現場では目標像があいまいなケースが多いようです。一般的に「なぜ、里山の管理をするのか?」ということを変更して問うと、景観の保全やある特定の生き物や生物種群の生息・生育の維持に集約されるケースが多いようです。具体的な目標が明らかになると、どのくらいの密度で樹木を維持すべきか、どの程度林床に光をあてた方が良いかなど、取り組みの仕方が明確になります。それらの多くは技術的なアプローチで解決できます。ただ、現在行われているような「生業としての里山」から離れた目的で里山を管理する場合、1つの場所に求められる要素も多様になります。

■里山を管理する最初の作業として大切なことは、そこに集うメンバーで「より具体的な目標像を共有すること」かもしれません。



案内図



【交通案内】

●電車・バスでのご来園

泉北高速鉄道「泉ヶ丘」駅 南側2番のりば(南海バス)
鉢ヶ峯行き「公園墓地北口」下車 約1.2km
※日曜・祝日は、堺公園墓地 直行便有り
「堺市立霊堂前」下車 約500m

●車でのご来園

阪和自動車道 堺ICより泉北ニュータウン方面へ約7.5km
「堺公園墓地」を目標に お越しください。

●○●○●○ お問い合わせ・申込み先 ●○●○●○

堺自然ふれあいの森 森の館

〒590-0124 大阪府堺市南区畑1740番地

TEL 072-290-0800 FAX 072-290-0811

ホームページ <http://www.sakai-fureainomori.jp>



発行:堺自然ふれあいの森 TSOグループ(指定管理者)

※TSOグループは、株式会社テクノグリーン・株式会社生態計画研究所・大阪ガスセキュリティサービス株式会社の連合体です。